

保険税や市民サービスの現状

草加市と他の自治体を比べてみると、国民健康保険税が比較的安く設定されていたり、経費が増えていても使用料や手数料を値上げせず運営している市民サービスがあります。

ピンチ！

国民健康保険の保険税が低い

安心して医療を受けることができる保険の制度。他の自治体より安く設定されていますが、加入者からお預かりしている**国民健康保険税だけでは運営できず**、市の一般会計からお金を補てんしています。

また、**令和9年度からは**埼玉県内のすべての市町村で、埼玉県が算定する**市町村標準保険税率を導入する予定**ですので、多くの市町村で保険税の見直しが必要となっています。

一般会計からの補てん額



※R4は決算、R5,6は当初予算額。

どんどん増加



市税などで運営されている会計を**一般会計**、国民健康保険税など特定の歳入で運用されている会計を**特別会計**といいます。

実は…

市民サービスの使用料や手数料が低い

草加市の公共施設の中には、35年以上使用料が変わっていない施設も。建替えなどの場合を除き、使用料は据え置きで頑張っています。

一方で、物価高騰などの影響で昔よりも維持費や修繕費などが高くなっており、**一般会計の負担が増えている状況**です。

施設管理にかかるお金には、使用料のほか、皆さんからお預かりしている市税等を充てています。

粗大ごみを処分するときの**手数料**なども**同様**で、今後も安心して市民サービスを受けていただけるよう、どのようにしたら良いか考えていかなければなりません。

使用料がずっと低いのは嬉しいけど…



市税などでまかなう負担はどんどん重く…



明るい未来に向かって

行政サービスのほとんどは、**市民の皆さまからお預かりした市税**でまかなわれています。

家計のやりくりと同じく、草加市の財政も、収入に見合った支出を考えていかなければなりません。

このままでは、将来的に**様々な市民サービスに影響**が出てきてしまいます。

草加市では、クラウドファンディングやネーミングライツなど、**収入を増やすための対策**を積極的に進めるとともに、今年度からは、**事業全体の総点検**を行い、市の施策の改善に向けた検討を行っています。

未来の明るいまちをつくりあげていくため、今ここにある危機を市民の皆さまとともに乗り越えていきたいと考えています。

草加市をより魅力あるまちにするため、ご協力をお願いいたします。

